

カーボンニュートラルに向けた公共施設での率的取り組み

背景

- 海・山・川・湖に囲まれ、都市部から中山間地域まである「**国土縮図型都市**」
- 豊富な日照時間や地域資源と官民連携の取組により、「**太陽光発電及び再エネ導入容量日本一**」
- 持続可能な森林経営により、**FSC森林認証面積日本一**

現状の課題

- 古くから**南海トラフ地震**が予測されている
- 温室効果ガス排出は、**運輸部門が最も多い車社会**

事業の目的

- 公共施設におけるカーボンニュートラルの率的な取り組み**を通して、地域課題の解決に貢献
 - 南海トラフ巨大地震等の災害対策**
 - 運輸部門のCO₂削減**
- 国土縮図型都市の**地の利を活かしたエネルギーを自ら生み出し、賢く使い、豊かな自然環境と共存する暮らしを実現**

これまでの取組

- 政令市初の地域新電力「**浜松新電力**」設立(2015年)
- 林業やエネルギー政策が評価され「**SDGs未来都市**」(2018年)や「**バイオマス産業都市**」(2014年)に認定
- 分散型エネルギー事業「**浜松グリッド8**」(2020年)
- 2020年3月「**浜松市域“RE100”宣言**」を行い、**2050年ゼロカーボンシティ**を表明

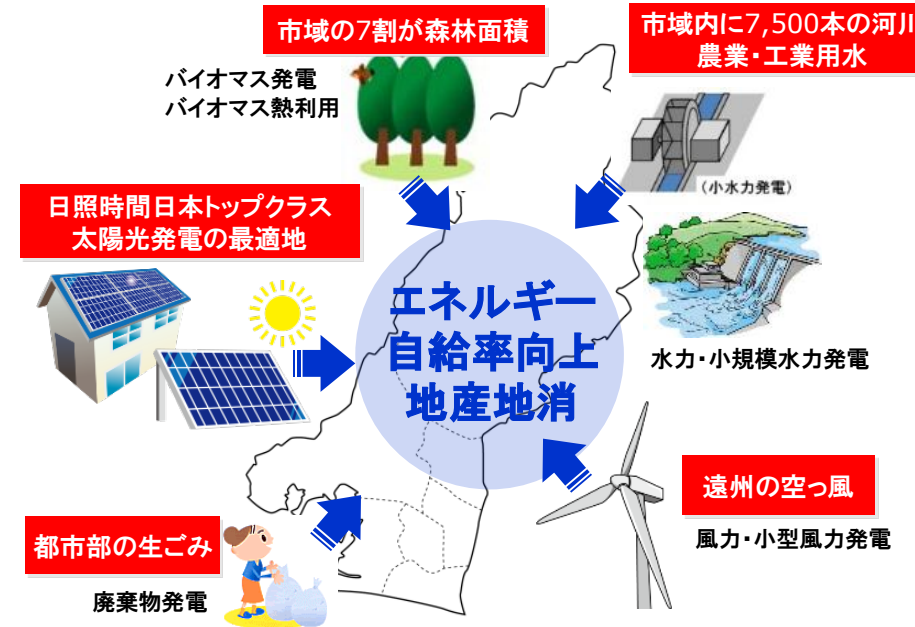


図1 浜松市の再エネポテンシャル

①再生可能エネルギーの導入・利用拡大

- 多様な再生可能エネルギーの導入、地産地消

②徹底した省エネ+イノベーション

- ZEH・ZEB ⇒ スマコミ ・エネルギー環境イノベーション等

③森林の二酸化炭素吸収

- 林業・木材産業の成長産業化 ⇒ 天竜材の利用拡大
- 森林資源の活用と保全

図2 浜松市域“RE100”宣言の3本柱

カーボンニュートラルに向けた公共施設での率的取り組み

事業内容

- 既存の「浜松グリッド8」をベースに、緊急時に中核をなす**消防署・区役所等にマイクログリッドを新規に構築し、公共施設群を脱炭素化**
- 市の**防災力強化**とともに区役所等へRE100充電スポット創出により、市民に**ゼロカーボン・ドライブ**を普及

得られる成果等

- 消防署等の**レジリエンス強化**により、「**エネルギー・スマートシティ**」の実現に貢献
- 地産脱炭素エネルギーの**ゼロカーボン・ドライブ**により、**運輸部門の温室効果ガス削減**

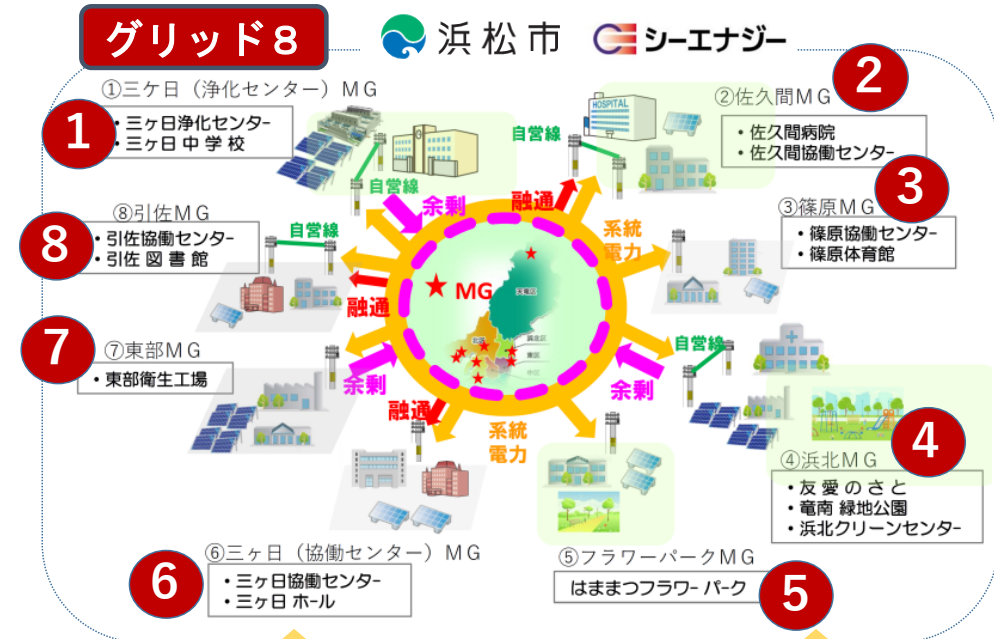
●企業に求めるもの

- 民間活力による導入**（P P A方式、エネルギーサービス方式等）
- 事業価値向上の提案**（エネルギーマネジメント等）

●企業のメリット

- 様々なフィールドを併せ持つ「**国土縮図型都市**」での課題解決は、**全国のモデルケース**となる。

寄附をするメリット等



RE100電力



新規マイクログリッド

消防署・区役所等

導入設備

PV・バイオマス・蓄電池・LED・EV・V2B等

浜松市産業部エネルギー政策課 辻・内山
 ene@city.hamamatsu.shizuoka.jp
 TEL : 053-457-2502